



# 「人と自然が織りなすまち」みずほの実現に向けて まちづくりの5カ年計画が決定



今回の議会では、まちづくりの長期計画である長期総合計画の策定が議案として提案されました。町の長期計画は、10年間の町づくりの方向性を示す「基本構想」と、実現に向けての具体的な施策を定める「基本計画」がありますが、「基本計画」については5年ごとに見直しを行っています。そこで、今回の議会では、18年度から22年度までの5年間の計画案が議会に示されました。

## 行政が策定した計画案を 町長が議会に提出

## 17名の議員で審査 基本計画特別委員会を設置

議会では、基本計画特別委員会（議長を除く17名の議員で構成）を設置して、委員長に上野勝議員、副委員長に森巨議員を選出し、2日間にわたり審査を行い、延べ57人の議員から90件の質疑がありました。採決の結果、全会一致で可決しました。



基本計画特別委員会の審査風景



計画案を説明する石塚町長

- ① 町の課題解決に向けて着実に施策の展開を図ること。
  - ② 町独自の地域資源を活かした施策を効果的に推進していくこと。
  - ③ 快適な生活環境をめざして、都市基盤づくりを鋭意推進していくこと。
- また、町民意識調査や町民提案、計画原案に対する意見募集など、町民参加の機会にも配慮したとの説明がありました。

平成17年4回定例会は12月7日から22日まで、会期16日間で開催されました。今回の定例会では、町づくりの長期計画の見直しや、町職員の給与条例の改正など、合わせて19件の町長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

## 全会一致で可決

基本計画特別委員会における質疑・答弁の要旨を次ページ以降に掲載しております。